

平成26年度病害虫発生予報第9号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	べと病	並	並
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや多	やや多
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	やや少	やや少
	コナジラミ類	並	並
	ハモグリバエ類	並	並
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病	並	並
たまねぎ	ネギアザミウマ	並	並
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病 (注意報第7号)	多	多
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類 (注意報第8号)	多	多
ブロッコリー	黒腐病	やや少	やや少
	べと病	並	並
	コナガ	並	並

【発生予報】 本文の ( ) 内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(11筆)の結果、発病葉率は0.7%(1.0%)、発生圃場率は18.2%(21.1%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(11筆)の結果、発病葉率は6.6%(4.4%)、発生圃場率は45.5%(48.9%)で、一部多発圃場があった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 病勢が進行すると防除困難となるため、早期発見・早期防除に努める。
- イ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

### 3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(11筆)の結果、発病葉率は0.6%(0.3%)、発生圃場率は9.1%(10.4%)であった。

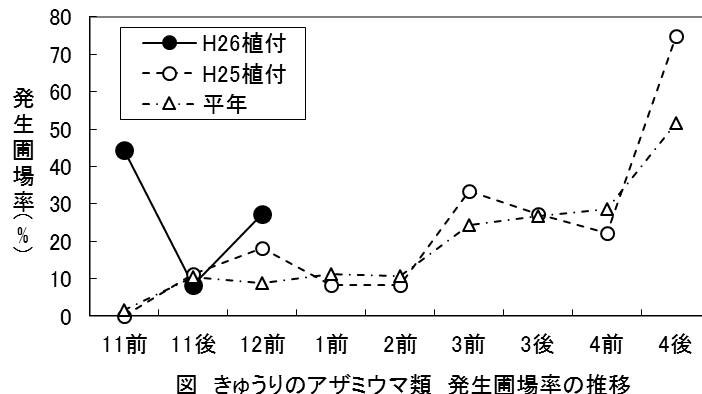
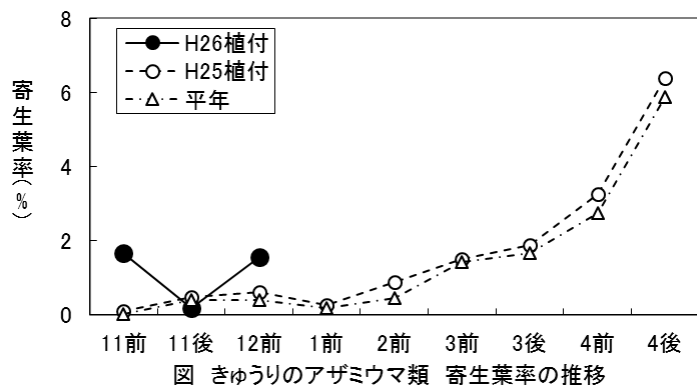
### 4. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(11筆)の結果、寄生葉率は1.6%(0.4%)、発生圃場率は27.3%(8.9%)であった。



(3) 防除上注意すべき事項

- ア 하우스内および周辺の雑草は本虫の生息・増殖源となるので除去し、環境衛生に努める。
- イ 発生が多くなってからの防除は困難で、黄化えそ病も媒介するので、青色(もしくは黄色)粘着トラップを施設内に設置し、早期発見、早期防除に努める。
- ウ 本虫は芽に潜り込みやすいので、芽かきした葉は残さず集めて施設外に持ち出し、土中に埋めるか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。
- エ 薬剤は葉裏や葉芯、芽の部分に十分付着するようていねいに散布する。
- オ 薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤をローテーションで使用する。

### 5. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(11筆)の結果、寄生葉率は0.6%(0.9%)、発生圃場率は27.3%(33.4%)であった。

## トマト

### 1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.0%(0.2%)、発生圃場率は8.3%(20.9%)であった。

### 2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.8%(寄生株率1.4%)、発生圃場率は41.7%(27.3%)であった。

### 3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、被害葉率は0.3%(0.7%)、発生圃場率は25.0%(17.8%)であった。

## レタス

### 1. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率0.0%(0.0%)、発生圃場率は6.7%(0.7%)であった。

### 2. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.1%(0.2%)、発生圃場率は20.0%(25.8%)であった。

## たまねぎ

### 1. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は8.0%(7.6%)、発生圃場率は50.0%(50.0%)であった。

## いちご

### 1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.1%(0.1%)、発生圃場率は3.7%(2.8%)であった。果実での発生は認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率0.5%)。

### 2. 灰色かび病

平成26年12月16日付け**病害虫発生予察注意報第7号**による。

### 3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.0%(1.5%)、発生圃場率は14.8%(12.5%)であった。

### 4. ハダニ類

平成26年12月16日付け**病害虫発生予察注意報第8号**による。

## ブロッコリー

### 1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.7%(過去7年平均3.7%)、発生圃場率は16.7%(同11.1%)であった。

### 2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(過去7年平均発病株率0.1%、発生圃場率3.6%)。

### 3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は6.0%(過去7年平均7.5%)、発生圃場率は50.0%(同45.6%)であった。

【参考】

気象 (平成26年12月11日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	60	30	10
降水量	20	40	40
日照時間	40	30	30

※予報対象地域：九州北部地域

平成26年度の気象経過 (長崎地方气象台)

